

農薬使用時安全性検討会議事要旨

日 時 : 平成20年3月4日(火) 14:00~16:15
場 所 : 独立行政法人農林水産消費安全技術センター農薬検査部 小会議室
出 席 : 赤堀、戸部(座長)、降矢、三瀬各委員(五十音順)

(事務局): 独立行政法人農林水産消費安全技術センター農薬検査部

今回の農薬使用時安全性検討会は、ズッキーニ黄斑モザイクウイルス弱毒株2002、ペキロマイセス テヌイペスト1株、クロリムロンエチル、シエノピラフェン、全卵粉末、スピロメシフェン、ベノミル及びECPを議題として開催された。その要旨は次のとおりである。

議題1 ズッキーニ黄斑モザイクウイルス弱毒株2002について

- (1) 事務局より、本薬については、当検討会に初めて審議を依頼するものであること及び毒性試験成績等提出された資料の概要が説明された。
- (2) 提出された資料を検討した結果、別紙1の使用上の注意事項を定めることが適切とされた。

議題2 ペキロマイセス テヌイペスト1株について

- (1) 事務局より、本薬については、前回平成19年11月20日に審議されており、前回指摘された事項について資料提出があった旨説明された。
- (2) 今回提出された資料を検討した結果、使用上の注意事項については別紙2のとおり、前回と同じとすることが適切とされた。

議題3 クロリムロンエチルについて

- (1) 事務局より、本薬については、当検討会に初めて審議を依頼するものであること及び毒性試験成績等提出された資料の概要が説明された。
- (2) 提出された資料を検討した結果、別紙3の使用上の注意事項を定めることが適切とされた。

議題4 シエノピラフェンについて

- (1) 事務局より、本薬については、当検討会に初めて審議を依頼するものであること及び毒性試験成績等提出された資料の概要が説明された。
- (2) 提出された資料を検討した結果、別紙4の使用上の注意事項を定めることが適切とされた。

議題5 全卵粉末について

- (1) 事務局より、本薬については、当検討会に初めて審議を依頼するものであること及び毒性試験成績等提出された資料の概要が説明された。
- (2) 提出された資料を検討した結果、別紙5の使用上の注意事項を定めることが適切とされた。

議題6 スピロメシフェンについて

- (1) 事務局より、本薬については、前回平成19年7月13日に審議されており、前回指摘された事項について資料提出があった旨説明された。
- (2) 今回提出された資料を検討した結果、使用上の注意事項については別紙6のとおり、前回と同じとすることが適切とされた。

議題7 ベノミルについて

- (1) 事務局より、本薬については、前回平成17年7月14日に審議されており、前回指摘された事項について資料提出があった旨説明された。
- (2) 今回提出された資料を検討した結果、使用上の注意事項については別紙7のとおり、前回と同じとすることが適切とされた。

議題8 ECPについて

- (1) 事務局より、本薬については、前回平成18年7月14日に審議されており、前回指摘された事項について資料提出があった旨説明された。
- (2) 今回提出された資料を検討した結果、別紙8の使用上の注意事項を定めることが適切とされた。

その他

次回日程について

次回の農薬使用時安全性検討会は、平成20年7月23日もしくは24日に独立行政法人農林水産消費安全技術センター農薬検査部小会議室にて開催することとされた。

(照会先) 農薬検査部 毒性検査課 荒巻、鶴澤
電話：042(383)2142

○ズッキーニ黄斑モザイクウイルス弱毒株 2002

(総合評価) 使用上の注意事項

ズッキーニ黄斑モザイクウイルス弱毒株 2002 水溶剤

- (1) 使用の際は農薬用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用すること。
作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換すること。
- (2) 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- (3) かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触を避けること。
- (4) 夏期高温時の使用を避けること。

○ペキロマイセス テヌイペス T 1 株

(総合評価) 使用上の注意事項

ペキロマイセス テヌイペス T 1 株 乳剤

- (1) 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。
眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- (2) 散布の際は農薬用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用すること。
作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換すること。
- (3) 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- (4) かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触を避けること。
- (5) 夏期高温時の使用を避けること。

○クロリムロンエチル

(総合評価) 使用上の注意事項

クロリムロンエチル 25.0%顆粒水和剤

- (1) 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。
眼に入った場合には直ちに水洗すること。
- (2) 公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。

○シエノピラフェン

(総合評価) 使用上の注意事項

シエノピラフェン 30.0%フロアブル

- (1) 医薬用外劇物。取扱いには十分注意すること。
誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせること。
本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けること。
 - (2) 散布の際は防護マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用すること。
作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換すること。
 - (3) 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
 - (4) かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
- (1 2 項：鍵のかかる場所に保管すること。)

○全卵粉末

(総合評価) 使用上の注意事項

全卵粉末 80.0%水和剤

- (1) 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。
眼に入った場合には直ちに水洗すること。
- (2) 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。

○スピロメシフェン

(総合評価) 使用上の注意事項

スピロメシフェン 30.0%フロアブル

- (1) 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。
眼に入った場合には直ちに水洗すること。
- (2) 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。
作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換すること。
- (3) 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- (4) かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。

○ベノミル

(総合評価) 使用上の注意事項

ベノミル 50.0%水和剤

- (1) 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。
眼に入った場合には直ちに水洗すること。
- (2) 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。
付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- (3) 使用の際は農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。
作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換すること。
- (4) 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- (5) かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
- (6) 常温煙霧中はハウス内へ入らないこと。また、常温煙霧終了後はハウスを開放し、十分換気した後に入室すること。
- (7) 公園等で使用する場合は、使用中及び使用後(少なくとも使用当日)に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。

O E C P

(総合評価) 使用上の注意事項

E C P 75.0%乳剤
<p>(1) 医薬用外劇物。取扱いには十分注意すること。 誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせること。 本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けること。</p> <p>(2) 本剤の解毒剤としては動物実験で硫酸アトロピン製剤及びPAM製剤が有効であると報告されている。</p> <p>(3) 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。 眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。</p> <p>(4) 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。 付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。</p> <p>(5) 使用の際は防護マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用すること。 作業後は直ちに身体を洗い流し、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換すること。</p> <p>(6) 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。</p> <p>(7) かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触を避けること。</p> <p>(8) 夏期高温時の使用を避けること。</p> <p>(12項：鍵のかかる場所に保管すること。)</p>
E C P 3.0%粉剤
<p>(1) 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。 眼に入った場合には直ちに水洗すること。</p> <p>(2) 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。 作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをすること。</p> <p>(3) かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。</p>